

インターネットで知り合った人と会うことの危険性について

埼玉県教育委員会

インターネット上のサービスを使っていると、面識のない人物と知り合うことがあります。共通の趣味の話などをきっかけにやりとりを重ねて、そうした人物と仲良くなることも珍しくありません。みなさんの中にも、そんな経験がある人がいるのではないのでしょうか。

しかし、いくら仲良くなったからといって、すぐに相手を信用してはいけません。インターネットで知り合った人に会いにいったら、トラブルにまきこまれてしまった人もいます。

プロフィールが本物とはかぎらない

ここでは、インターネットで知り合った人に会いにいったら、トラブルにまきこまれてしまった例をひとつ紹介したいと思います。



A子はSNSで、同じ芸能人が好きな年代の女の子C美と知り合いました。



メッセージのやりとりを重ねるうちに仲良くなり、ある時C美からライブに誘われて一緒に行くことに。



しかし、当日待ち合わせ場所にあらわれたのは、C美ではなく、知らない男の人だったので。

上記の例のように、インターネットで知り合った人に会いにいくと、プロフィールとはまったくの別人がきた、というケースがあります。

インターネットのやりとりは、顔の見えない相手とのやりとりです。そのため、性別や年齢、顔写真などのプロフィールは簡単にいつわることができます。

インターネットのやりとりでは、相手のことを信用しやすい？

私たちは普段対面で会話をするとき、言葉だけでなく、相手のしぐさや表情などの情報もふまえて相手の感情を理解しています。例えば悩み事を相談したときに、相手がいかにやさしい言葉をかけてくれたとしても、相手の様子から少しでも「適当に返事をしているな」「早く話を終わらせようとしているな」と感じたら、その人を信用しようとは思わないですね。

しかし、インターネットにはそうした情報がありません。文字だけで相手の感情を判断します。そのため、少しやさしい言葉をかけてくれただけで、「いい人だな」と相手のことを信用してしまうことがあるのです。

インターネットには、犯罪行為などを目的に近づいてくるような悪意のある人物もいます。インターネットで知り合った人と会おうと思ったときは、保護者の方等に相談してから判断しましょう。